

第3期

幕別町子どもの読書活動推進計画



幕別町図書館

Makubetsu Community Library

平成30年4月
幕別町教育委員会

第1章 基本的な考え方

1	基本理念	1
2	計画の性格	1
3	計画の期間	1
4	計画の対象	1
5	めざす姿	1
6	計画の指標	2

第2章 推進計画策定の目的

1	策定の背景	3
2	策定の趣旨	4
3	第2期計画における成果と課題	6

第3章 読書活動推進のための方策

1	読書の機会をふんだんに	10
2	読書の環境を整える	12
3	読書を広げる	14

資料編

1	幕別町読書アンケート結果（平成29年11月）	15
2	子どもの読書活動に関する参考サイト	21

第1章 基本的な考え方

1 基本理念

読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであり、子どもたちが未来をたくましく切り拓くための活力の源となるものでもあります。

幕別町のすべての子どもがあらゆる機会、あらゆる場所で、主体的・能動的に読書活動を行うことができるよう、読書環境を整えていきます。

2 計画の性格

この計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づくものであるとともに、「第6期幕別町総合計画」並びに「幕別町生涯学習中期計画」の各個別計画として位置づけ、学校、図書館などの関係機関・団体等が連携・協力し、子どもの読書環境の整備に取り組む方向性を示すものです。

3 計画の期間

平成30年度から34年度までの5カ年計画とします。

4 計画の対象

計画の対象は、おおむね18歳以下の子どもとしますが、家庭・地域、図書館、学校等、子どもの読書活動と関連する地域住民・団体も対象とします。

5 めざす姿

この計画では、「すべての子どもがあらゆる機会、あらゆる場所で主体的・能動的に読書活動を行うことができるよう読書環境を整えていく」という基本理念に基づき、町全体として、次の三つの観点で子どもの読書活動を推進します。

(1) 読書の機会をふんだんに

家庭・図書館などの地域・学校などの子どもが本にふれる場、また子どもの発達の段階に応じて、子ども自身が読書の楽しさに出会い、親しむ機会をふんだんにつくとともに、住民参加による地域の力を活用した取り組みを行います。

(2) 読書の環境を整える

子どもの読みたい・調べたいという意欲を育てるには、子どもの身近に本がある環境づくりが重要です。

学校図書館や図書館の図書資料等を充実させるとともに、家庭・地域・学校など、関わりある機関や団体がそれぞれの機能を生かし、協力・連携して、いつでもどこでも読書ができる環境を整えるよう努めます。

(3) 読書活動を広げる

子どもが読書習慣を身につけるには、身近な大人が読書活動の大切さを理解し伝えることも重要です。

家庭、地域、学校を通じた地域全体で読書活動を推進するため、理解と関心を深める取組をし、子どもの読書活動に対する理解の促進に努めます。

6 計画の指標

子どもの読書活動を推進するにあたっては、その成果を読んだ本の冊数など、数値目標で示すのではなく、子どもが人生をより深く生きる力を身に付けるため、自主的な読書活動を習慣化できるよう読書環境を整えることに重点を置く必要があります。

この計画では、計画の進捗状況や成果を客観的に判断するための材料の一つとして、基本目標の達成度を評価することに配慮するとともに、子どもの望ましい読書活動状況を考え、目安として次のとおり設定します。

	平成 29 年度	平成 34 年度 目標値
読書が好きな子どもの割合	小学生 55.5%	<u>小学生 60.0%</u>
	中学生 46.4%	<u>中学生 50.0%</u>
普段（月～金曜日）、1日当たり15分以上読書する子どもの割合	小学生 71.5%	<u>小学生 80.0%</u>
	中学生 74.0%	<u>中学生 80.0%</u>
普段、学校図書館・学校図書室に月1回以上行く子どもの割合	小学生 72.8%	<u>小学生 80.0%</u>
	中学生 47.3%	<u>中学生 50.0%</u>
普段、幕別町図書館（全館）に月1回以上行く子どもの割合	小学生 31.8%	<u>小学生 35.0%</u>
	中学生 18.5%	<u>中学生 20.0%</u>

※H29年度は、幕別町『読書アンケート（H29幕別町教育委員会）』より

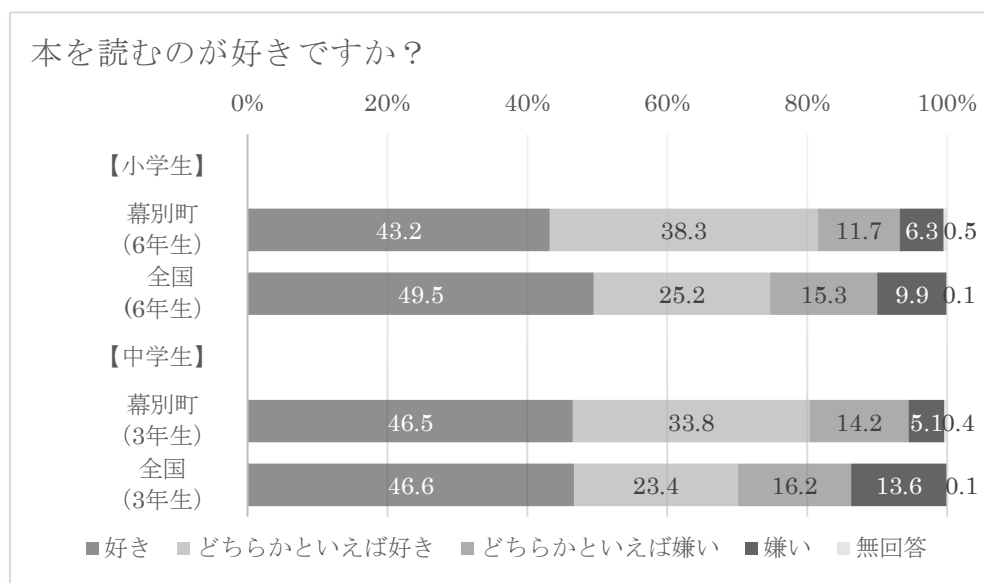
第2章 推進計画策定の目的

1 計画策定の背景

毎年、全国学校図書館協議会と毎日新聞社が共同で実施している「学校読書調査報告¹」によると、1カ月間に読んだ書籍（雑誌、マンガ、マンガ雑誌などを除く）の平均冊数は、小学生（4～6年生）が11.4冊、中学生が4.2冊、高校生が1.4冊であり、年々、読書量が増加する傾向にある一方で、不読率（本を1冊も読まなかった子どもの割合）は、小学生（4～6年生）で4.0%、中学生で15.4%、高校生で57.1%と、学年が上がるにつれ高まる傾向にあります。

幕別町でも、平成29年11月に実施した「読書アンケート²」において、不読率が小学生（4～6年生）で15.1%、中学生で27.1%と同様の傾向が見られ、第2期計画策定時の割合（小学4～6年生20.2%、中学生22.8%）と比較すると、小学生の不読率は減少しているものの、中学生においては増加しています。

その一方で、「本を読むのが好きですか」という質問では、「好き」と回答した小学生（4～6年生）が48.8%、中学生が46.4%と第2期策定時の割合（小学4～6年生47.6%、中学生42.8%）より増加していることから、子どもたちがあらゆる機会、あらゆる場所で本を手にすることができ、新たな本や自分に合う本、自分にとって人生の財産となり得る本と出会うことができるような取組が必要と考えられます。



※幕別町 『読書アンケート（H29 幕別町教育委員会）』より

※全国 『平成28年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）』より

※1 【学校読書調査報告】全国学校図書館協議会と毎日新聞社が共同で毎年実施している児童生徒の読書実態や読書環境に関する全国調査。

※2 【読書アンケート】設問・回答は資料編を参照

平成29年3月に実施された「子どもの読書活動の推進等に関する調査研究³」では、「家庭での蔵書が多く、また、家族に本を買ってもらったり紹介してもらったりする児童・生徒のほうが本を読んでいる」と報告されており、大人が本に親しむ姿を見せることが、子どもの読書習慣を定着させる重要な役割を果たしていると言えます。

加えて、平成25年の国立教育政策研究所において実施された「平成25年度全国学力・学習状況調査⁴」の「保護者に対する調査」では、保護者による本や新聞を読むことに関する働きかけが子どもの学力と非常に強く関わり、「子どもに本や新聞を読むようにすすめている」「子どもと読んだ本の感想を話し合ったりしている」「子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをした」という項目に「あてはまる」とした家庭ほど、子どもの学力が高い傾向が見られました。

図表2-1-14 「子どもに本や新聞を読むようにすすめている」と学力の関係

	小6					中3				
	国語A	国語B	算数A	算数B	%	国語A	国語B	数学A	数学B	%
あてはまる	69.4	56.6	81.5	64.4	29.1	80.7	72.8	68.2	47.2	22.5
どちらかといえばあてはまる	62.5	49.3	77.5	58.6	40.3	77.2	68.4	65.2	43.0	39.6
どちらかといえばあてはまらない	57.1	43.4	73.1	53.1	25.7	73.4	63.7	59.9	37.1	30.5
あてはまらない	54.0	39.5	69.7	49.4	4.9	70.0	59.7	55.7	32.4	7.4
合計	62.7	49.4	77.2	58.4	100.0	76.3	67.3	63.5	41.4	100.0

図表2-1-15 「子どもと読んだ本の感想を話し合ったりしている」と学力の関係

	小6					中3				
	国語A	国語B	算数A	算数B	%	国語A	国語B	数学A	数学B	%
あてはまる	69.9	57.5	81.2	64.9	10.3	82.9	76.3	69.9	49.6	8.2
どちらかといえばあてはまる	65.9	53.3	79.1	61.5	28.5	79.8	72.5	67.1	45.8	21.8
どちらかといえばあてはまらない	61.1	47.4	76.3	56.9	45.0	75.4	66.0	62.6	40.2	46.2
あてはまらない	57.3	43.0	73.8	53.0	16.2	72.6	62.2	60.2	36.9	23.7
合計	62.7	49.4	77.2	58.4	100.0	76.3	67.3	63.5	41.4	100.0

図表2-1-16 「子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをした」と学力の関係

	小6					中3				
	国語A	国語B	算数A	算数B	%	国語A	国語B	数学A	数学B	%
あてはまる	67.3	55.2	80.5	63.6	39.8	79.9	71.8	67.2	45.8	40.0
どちらかといえばあてはまる	61.9	48.1	76.5	57.4	33.9	75.3	66.3	62.7	40.3	33.1
どちらかといえばあてはまらない	57.6	43.2	73.6	53.1	20.9	72.8	62.3	59.7	36.4	21.1
あてはまらない	53.8	39.3	70.1	47.4	5.4	69.9	60.8	57.0	34.6	5.7
合計	62.7	49.4	77.2	58.4	100.0	76.3	67.3	63.5	41.4	100.0

※『平成25年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）』より

³ 【子どもの読書活動の推進等に関する調査研究】平成29年3月、文科省委託調査として、全国の小学生・中学生・高校生に対し、今後の読書活動の推進を資することを目的として実施。

⁴ 【全国学力・学習状況調査】文部科学省が平成19年度から年1回全国的に子どもたちの学力状況を把握するために行っている調査。対象は国・公・私立学校の小学校第6学年と中学校第3学年の児童生徒。教科に関する調査と生活習慣や学習環境等に関する質問用紙調査がある。

また、その調査報告によると、子どもと読んだ本の感想を話し合ったりしている家庭の子どもは、B問題（知識・技能等を実生活のさまざまな場面に活用する力）に関する問題の正答率が高く、小学生は国語の正答率が 57.5%（平均 49.4%）、算数は 64.9%（平均 58.4%）であり、中学生では、国語の正答率が 76.3%（平均 67.3%）、算数は 49.6%（平均 41.4%）となっていることから、学力向上につながるような読書活動も視野に入れることが肝要と言えます。

平成 29 年に内閣府で実施した「青少年のインターネット利用環境実態調査⁵」では、青少年の 80.2%がインターネットを利用しており、スマートフォンでは 47.2%、携帯ゲーム機では 21.7%、タブレットでは 20.9%と、インターネット環境が子どもたちの身近なものとなっていることがうかがえます。

電子書籍の利用は、平成 26 年が 11.6%、平成 27 年が 12.6%、平成 28 年が 12.9%と、その利用率は低いようにも見受けられますが、年々、微増しています。このように、さまざまな ICT の普及により、社会状況や生活環境が変化するとともに、子どもを取り巻く読書環境も変化しつつあります。

読書は、思考力、判断力、表現力とともに、コミュニケーション力を培ってくれるものです。子どもの主体的・能動的な読書活動を推進するには、子どもと本とをつなぐ「人の力」が必須であるため、家庭や地域、学校や図書館など地域全体において、社会的状況に応じた読書活動を支える環境を整える方策を検討する必要があります。

2 計画策定の趣旨

幕別町では、平成 13 年 12 月に「子どもの読書活動の推進に関する法律⁶」が施行されたのを受け、平成 16 年 2 月に「幕別町子どもの読書活動推進計画（以下、「第 1 期計画」といいます。）」を策定しました。第 1 期計画終了後の平成 24 年 4 月には、「第 2 期幕別町子どもの読書活動推進計画（以下、「第 2 期計画」といいます。）」を策定し、幕別町のすべての子どもがあらゆる機会、あらゆる場所で、自主的に読書活動を行うことができるよう取り組みを進めてきました。

平成 29 年度で第 2 期計画が終了することから、7 年間の取り組みの成果を検証するとともに、新たな「推進計画」を策定するものです。

策定にあたっては、第 1 期計画及び第 2 期計画の基本理念を継続するとともに、第 2 期計画中に策定された関連する計画及び社会情勢の変化を踏まえ、総合的・計画的に子どもの読書活動を推進するための見直しを図りました。

⁵ 【青少年のインターネット利用環境実態調査】内閣府が通称「青少年インターネット環境整備法」（平成 21 年 4 月 1 日施行）の施行状況調査のため、満 10 歳～17 歳の青少年及びその同居の保護者に対し毎年実施しているインターネットの利用に関する調査。

⁶ 【子どもの読書活動の推進に関する法律】子どもの健やかな成長に資するため、子どもの読書活動の推進に関する基本理念、並びに国及び地方公共団体の責務等を示した法律。

3 第2期計画における成果と課題

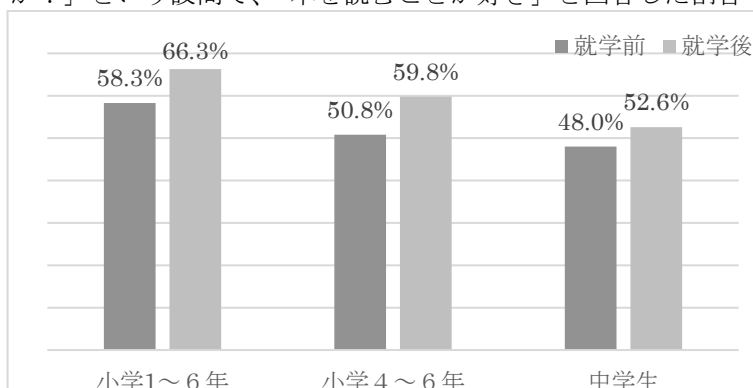
(1) 家庭・地域での読書活動

本に親しむきっかけづくりとして、乳幼児健診時に絵本のプレゼントを行う「マイファーストブックサポート」を継続するとともに、おすすめの絵本セットの貸出、ブックリストを配布しました。フォローアップとして、図書館全館で親子が一緒に本を選べるコーナーを設置し、1～3歳児を対象とした絵本セットの貸出を行い、低年齢から本と触れあう機会をふんだんにつくりました。

また、保護者への読み聞かせの啓発もねらい、マイファーストブックサポート時における、絵本の読み聞かせのボランティア（図書館サポーター）を育成する講座を開催しました。

1歳6カ月児健診時に実施している「ふれあい子育て読書推進事業アンケート」においては、89.9%の保護者がマイファーストブックサポート後に子どもと絵本を読む時間を楽しんでおり、「読書アンケート」においても、「本を読むことが好きですか？」という設問で、家庭における読み聞かせの頻度の高い児童・生徒が「本を読むことが好き」と回答する割合が高く、マイファーストブックサポート後の読み聞かせの習慣化が、成長後の本への関心に関わりがあるように推測されます。

○「家の人に絵本や本を読んでもらったことがありますか？」という設問に「よくあった」「ときどきあった」と回答した児童・生徒が、「本を読むことが好きですか？」という設問で、「本を読むことが好き」と回答した割合



『読書アンケート（H29 幕別町教育委員会）』より

(2) 学校等での読書活動

- ・ 保育所・幼稚園に対する読書活動の支援として、移動図書館の巡回と団体貸出を行いました。また、保育所等での読み聞かせの促進を目指し、保育士からの絵本のリクエストを積極的に受け提供しました。

- ・ 小中学校における読書活動の支援においても、移動図書館の巡回と団体貸出（学級文庫）の充実を図るとともに、調べ学習における支援を積極的に行いました。子どもの読書の多様性に注目し、写真絵本をつくるワークショップなど、本に関心を持つ取組を進めました。
- ・ 図書館行事とおすすめ図書の紹介をする「図書館だより」を学齢別に作成、全配布することで、本とふれあう機会の情報提供を行いました。
- ・ 同世代がすすめる本は手に取りやすいため、子どもたちの情報交換の場を目指したサイトを設けました。中学生向けのブックリスト「はざま通信」を紙媒体で作成・配布するとともに、ホームページにおいても掲載しています。現在は、情報提供のみに留まっていますが、今後、情報交換をする場としての活用が課題といえます。

(3) 学校図書館の整備・充実

- ・ 国の学校図書館図書標準を踏まえ、図書資料の整備・充実を計画的に進めました。平成 28 年度の学校図書館の図書蔵書達成率は、小学校では 90.0%、中学校では 92.4%と、目標値に近い達成率となっています。しかしながら、情報が古く、時勢に合わない資料の除架・除籍が進められていないのが現状であることから、新鮮かつ利用できる蔵書構成を検討していく必要があります。
- ・ 小学校 6 校・中学校 4 校において、学校図書館を居心地のよい空間にするため、リフォームやディスプレイなどの相談・改装を実施し、要望に応じての訪問を継続しています。休み時間に混みあうほど子どもの利用が増え、図書委員・PTA ボランティア等の活動の活発化にもつながりました。
- ・ 中学校には、図書館と同じシステムが導入されており、貸出と返却、蔵書管理をシステムにより行っています。図書館では、担当教員の負担を軽減するため、図書登録の支援をしています。
- ・ 今後は、事業の共同開催等、担当教員をはじめ、図書委員・PTA ボランティア等との連携を深め、子どもが多く時間を過ごす学校の図書室の読書環境整備に努める必要があります。

(4) 幕別町図書館の整備・充実

- ・ 子どもの読書活動の核となる場として、子どもの年齢、興味、関心に沿う図書の選定、本を介した子育て等の生活に関わる情報の収集・発信、本と出会うことを意図したさまざまな講座・ワークショップを開催しました。

- ・ 子どもの読書週間は、図書館に足を運んでもらうための参加型の事業を行い、近隣3町とも読書に係る連携事業を実施するなど、子どもが本とふれあう機会をふんだんにつくりました。
- ・ 読み聞かせ団体による定期的なお話会、図書館サポーターによる図書展示など、図書館だけでは行き届かない側面において活躍するボランティア団体は、子どもの読書活動に欠かせない存在であり、今後は、各団体においても連携を深め協働していくことが必要となります。
- ・ 郷土の情報収集と編集に携わることを目的とした、図書館サポーターの養成講座を開催しました。児童向けの郷土資料は数少ないことから、情報収集と児童向けの編集を行うなど、ふるさと学習の支援を地域の力を活用し進める必要があります。
- ・ 平成26年度に新図書館システムを導入し、日本十進法のみ蔵書管理から、本と本棚の関係を管理できる「棚管理」を行うことで、画一的ではない、地域の特性や図書館のコレクションに合わせた独自の棚構成の工夫ができる、「文脈棚」の編集が可能となりました。今後は、図書館サポーターの力を生かし、子どもの未来のために残す本棚をつくる取組を推進する必要があります。

(5) 取組の目標数値

第2期計画においては、計画の進捗状況が把握できるよう、取り組みの目安とする計画最終年次の目標値を設定しました。

① 学校図書館の図書標準達成率 ※特別支援学級を含む

	第1期計画最終年度 (平22)	第2期計画目標値	第2期計画比較年度 (平28)
小学校	75.0%	100.0%	90.0%
中学校	86.4%	100.0%	92.4%

② 図書館の児童図書・蔵書冊数

	第1期計画最終年度 (平22)	第2期計画目標値	第2期計画比較年度 (平28)
3館合計	59,700冊	62,000冊	72,394冊

③ 図書館の18歳未満1人当たり貸出冊数

	第1期計画最終年度 (平22)	第2期計画目標値	第2期計画比較年度 (平28)
3館合計	13.0冊	15.0冊	25.6冊

④ 図書館の18歳未満利用登録率

	第1期計画最終年度 (平22)	第2期計画目標値	第2期計画比較年度 (平28)

3館合計	90.7%	93.0%	46.4% ⁷
------	-------	-------	---------------------------

⑤ 「本を読むのが好き！」な児童生徒の割合

	第1期計画最終年度 (平22)	第2期計画目標値	第2期計画比較年度 (平28)
小学校	48.0%	60.0%	48.8%
中学校	48.0%	60.0%	46.4%

- ・ 図書館の18歳未満1人当たり貸出冊数が倍増したものの、本を読むことが好きな児童・生徒は微増でした。
- ・ 「読書アンケート」の「あなたが本を読むきっかけがあれば教えてください」という質問においては、学校での一斉読書(72.5%)に次いで、家庭内での読書活動並びに友人から本をすすめられたことがきっかけとなっており、新たな本を手にする機会は、身近な存在であり、かつ「人が本と結びつけている」ということがうかがい知れます。
- ・ 読書は個人的な営みであるとともに、本を勧め合い、読み合うといった、他者との関わり持つことができるという側面をも併せ持っています。図書館が核となり、関係機関との連携・協働を図るとともに、「本と本・本と人・人と人」とを結びつける取組を展開し、子どもの読書活動を推進するために図書館機能を発揮することが望まれます。

⁷ 【第2期計画比較年度の数値】新図書館システム導入により、平成27年度から登録率を有効利用者数に変更した。平成26年度時では99.1%となっている。

第3章 読書活動推進のための方策

1 読書の機会をふんだんに

家庭は、子どもが最初に本と出合う場だけでなく、読書への関心や興味を持たせる上でも重要な役割を担っています。そのため、保護者に対して、家庭での読み聞かせや、一緒に本を読んだり、図書館へ出かけたりするなど、子どもが読書の時間を持つよう習慣づけることの重要性について理解を深めていくよう積極的な働きかけが必要になります。

子どもが乳幼児期から本にふれ、本に親しむ機会が増えるよう、年齢や発達の段階、地域や図書館などのさまざまな場に応じて、子どもと保護者が気軽に読書を楽しめる取組を進めます。

(1) 未就学児を対象とした取組

ボランティア等、地域住民の力を活用し、「マイファーストブックサポート」のフォローアップを重点とした取組に努めます。

未就学児を対象とした具体的な取組

- ① 7.8ヵ月乳児健診時に絵本のプレゼントと、赤ちゃんへのおすすめ絵本セットの貸出を行う「マイファーストブックサポート」を継続します。
- ② 保育士や図書館サポーターと連携し、おすすめの内容・セット数を充実させるとともに、配布するブックリストの細かな更新を図ります。
- ③ 図書館サポーターによる読み聞かせを行い、乳幼児からの読み聞かせの重要性を啓発します。
- ④ 保育所・幼稚園への団体貸出により、幼児期の読書活動を支援します。

(2) 未就学児の保護者を対象とした取組

子どもの読書の習慣化で重要な役割を担う保護者に対し、本を読むことの楽しさを知る機会をふんだんにつくります。

保護者を対象とした具体的な取組

- ① 本を介した子育て支援の一環として、子どもの発達段階に応じた子育てに関する本のセット貸出を行います。
- ② 子育て相談で訪れる機会が多い公共施設に、貸出用図書を常設するよう努めます。
- ③ 「マイファーストブックサポート」のフォローアップとして、ボランティア等による0～3歳児向けのおはなし会を開催します。

(3) 小中学生を対象とした取組

子どもの豊かな読書経験の機会を充実していくためには、本とふれあう機会を出来るだけ多くつくるのが肝要です。子どもが自分の読みたい本を自由に選び、読書の楽しみを知ることができるような取組みを行います。

小中学生を対象とした具体的な取組

- ① 読書通帳など読書記録を活用したイベントを実施し、子どもに本を読む楽しさを伝えます。
- ② 活字や読むことが苦手な子どもに対し、本を媒体にしたさまざまな取組を行うことで、本を手にするきっかけをつくることを進めます。
- ③ どの本を読んだらよいか分からないなど、子どもの読書状況に応じたブックリストを作成・配布し、本に関心を持つ機会になることを目指します。
- ④ 「朝読セット」「科学が好きになるセット」など、多様化するニーズに応えるセットの貸出をします。
- ⑤ ICTツールを活用した、独自の児童向けの郷土資料編集とデジタル化の実現を目指します。
- ⑥ 地域の商店などへの訪問、郷土資料の調べ方などをレクチャーする、郷土学習支援を行います。
- ⑦ 「はざま文庫（ヤングアダルト向け図書）」の表紙、挿絵を募集し、本に興味を持つきっかけづくりを行います。
- ⑧ 子どもが、主体的に学び、考え、行動する力を身につけられるよう、感性を育む読書、知識を習得する読書の双方を重視した取組を推進します。
- ⑨ 特別な支援を必要とする子どもが豊かな読書活動を体験できるよう、その状況に応じた資料の整備とともに、さまざまなサービスのあり方について検討を進めます。

2 読書の環境を整える

(1) 学校図書館の整備・充実

学校は、児童生徒が感性を育む読書、知識を習得する読書という、二つの読書活動を行える場として、重要な役割を担っています。児童生徒が主体的に学び、考え、行動する力を身につけられるよう、学習活動を通じた多様な読書活動を行い読書指導の充実に努めます。

学校図書館においては、子どもの感性を引き出し、さまざまな興味・関心に応える魅力的な資料を収集するとともに、図書館からの団体貸出（学級文庫）を活用し、学校図書館資料の整備・充実に努めます。また、図書館では継続的な読書環境の整備のため、学校図書館の運営に関する相談機能の充実に努めます。

学校図書館の整備・充実における具体的な取組

- ① 「学校図書館運営の手引」の小学校版の更新及び中学校版の作成に取り組みます。
- ② 装備や展示などの図書委員会活動の支援及び子どもの活動状況に合わせた図書室運営を実施できるよう、学校図書館司書の配置を検討します。
- ③ 学校図書館担当教員との意見交換の場を設け、学校図書館の読書活動を推進します。
- ④ 情報が古い本、時勢に合わない本などを除架・除籍し、子どもの多様化するニーズに対応する資料の受入をするなど、計画的な図書の整備を行い、蔵書内容の充実に努めます。
- ⑤ 図書館や身近な存在である保護者等によるボランティアとの連携・協力し、子どもたちの読書環境の充実に努めます。

(2) 図書館の整備・充実

図書館は、子どもたちが自分の読みたい本を豊富な図書の中から自由に選択し、読書の楽しみを知ることができる場所です。また、自ら必要な情報を集め、どの情報を利用するか考えることなどにより、読解力や情報を活用する力を身につけることができます。

図書館では、多くの子どもたちが読書を楽しみ、豊かな創造性や読解力を身につけ、発達段階とそのニーズに応じた児童・青少年用の図書館資料等の充実に努めます。

図書館における具体的な取組

- ① 図書館運営に係るボランティア団体の組織化を図り、地域の人材の力を生かして、総合的・計画的な子どもの読書活動を推進します。

- ② 家庭における読書習慣の定着化の一助として、親子でいっしょにゆっくり本選び・本探しができる「子育て支援」のコーナーの充実を図ります。
- ③ 図書館が情報編集センターとして、幕別町の子育てに関するあらゆる情報を収集・発信します。
- ④ 全保育所・全小学校へ移動図書館を巡回させるなど、町内全域に図書館サービスが行き届くよう、身近に本がある環境づくりを進めます。
- ⑤ 学校等で行っているテーマ展示などの「リアル本棚」を、ホームページ上の「バーチャル本棚」で公開し、互いにやり取りができる場をつくるなど、読書に親しみやすい環境を整備します。

(3) 子どもの読書活動を進める体制の整備

ボランティア団体は、子どもと本とをつなぐ重要な役割を担っています。今後も連携・協力を深めるとともに団体の活動を支援し、子どもが読書に親しむ機会の充実に向け、関係機関・団体等が連携・協力した取組を推進します。

図書館は、子どもの読書活動の核となる場として、関係機関との連携・協働を図るとともに、「本と本・本と人・人と人」とを結びつける取組を展開するため、その図書館機能を発揮できるよう人材を育成し、よりよいサービスを提供します。

子どもの読書活動を進める体制整備における具体的な取組

- ① 保健課やこども課と連携し、図書館の本を活用した子育てに関する講座を開催します。
- ② 本を子どもに手渡す役割にある人が、それぞれの専門外における子どもの発達段階に関する知識を得られるよう、情報共有や協議、または支援する機会を設けます。
- ③ ボランティアによる定期的な読み聞かせを行い、その必要性を啓発します。
- ④ 「マイファーストブックサポート」のフォローアップとして、絵本の選び方、読み方など、保護者向けの読み聞かせ講座を開催するとともに、図書館内において、「絵本相談」を定期的 to 実施します。
- ⑤ 読み聞かせボランティアによる幼稚園・保育所への訪問を促進するよう支援します。
- ⑥ 図書館司書の資質向上を図るため、各種研修への参加、自主研修の実施に努めます。

3 読書活動を広げる

子どもが読書意欲や読書習慣を身につけていくうえで、保護者、教職員、保育士など、子どもの身近にいる大人が読書活動に理解と関心を持つことが重要です。地域全体で読書活動を推進するため、子ども読書活動の意義や重要性について、地域間で理解を深め関心を高める取組を行います。

(1) 読書意欲を高める事業と広報の推進

読書意欲を高める事業と広報の推進における具体的な取組

- ① 読書への興味や関心をより深めるために、子ども向けの行事案内「図書館だよりスワディ」の内容の充実を図るとともに、広報、ポスター、チラシだけでなく、さまざまなメディアを通じて図書館や読書活動に関する情報を積極的に発信します。
- ② 司書・図書館サポーターが、学校の読書活動の状況に合わせ、ブックトーク・ビブリオバトル・POP講座など、出前講座等を開催し、読書活動を推進します。
- ③ 学校と協働で事業を実施し、子どもたちの主体的な読書の意欲を高め、本との出会いの幅が広がるよう努めます。
- ④ 子どもの読書週間・秋の読書週間に、POP・本のキャッチコピーのコンテストを開催し、本に興味を持つ契機につなげます。
- ⑤ 移動図書館の運休時に、子どもに係る各イベント・施設に出向き、読み聞かせや本の貸出を行うことで、本にふれる契機をつくります。
- ⑥ 子どもの読書活動に関する理解の促進を図る広報活動を進めるとともに、子どもの読書活動に関する情報提供に努めます。

資料編

1 読書アンケート結果

(1) 調査の時期 平成 29 年 11 月

(2) アンケートの対象

小学校 9 校、中学校 5 校に対し実施

回答数は、小学生 1,395 人（回答率 97%）、中学生 737 人（回答率 93%）

(3) アンケート結果

Q 1. あなたは、本を読むのが好きですか？

	小学生		中学生	
	平 23	平 29	平 23	平 29
好き	57.7	55.5	42.8	46.4
どちらかといえば好き	27.9	32.4	42.0	37.0
どちらかといえば嫌い	8.9	7.5	12.0	11.8
嫌い	4.4	4.5	2.8	4.3
無回答	1.1	0.1	0.4	0.4

Q 2. あなたは、1日にどのくらいの時間、本を読みますか？（教科書、参考書、マンガ、雑誌、マンガ雑誌除く） ※平 29 のみ

		小学生		中学生	
		平 23	平 29	平 23	平 29
普段、学校がある日	みない		26.8		25.2
	15分くらい		41.9		41.9
	30分くらい		17.7		19.1
	1時間くらい		7.5		8.3
	2時間くらい		1.6		2.4
	3時間くらい		0.9		0.4
	3時間以上		1.9		1.9
	無回答		1.6		0.7
普段、学校が無い日	みない		32.3		42.5
	15分くらい		24.1		14.8
	30分くらい		17.2		14.2
	1時間くらい		13.8		12.5
	2時間くらい		3.9		6.6
	3時間くらい		1.8		2.3
	3時間以上		4.3		3.8
	無回答		2.7		3.3

Q 3. あなたは、1カ月の間に、本を何冊くらい読みますか？（教科書、参考書、マンガ、雑誌、マンガ雑誌をのぞく） ※電子書籍は平 29 のみ

		小学生		中学生	
		平 23	平 29	平 23	平 29
紙の本	0冊	16.0	14.4	22.8	27.1
	1～2冊	30.6	35.3	54.0	49.8
	3～5冊	23.7	22.4	14.8	14.5
	6～9冊	13.6	9.6	4.3	3.0
	10冊以上	15.6	16.8	4.1	4.5
	無回答	0.5	1.4	0.4	1.1
電子書籍	0冊		76.4		66.4
	1～2冊		11.8		14.9
	3～5冊		4.1		3.9
	6～9冊		1.4		1.4
	10冊以上		1.8		3.8
	無回答		4.6		9.6

Q 4. Q 3で「0冊」と答えた人に質問です。どうして本を読まなかったのですか？（回答は3つまで） ※平 29 に 2 項目を追加

	小学生		中学生	
	平 23	平 29	平 23	平 29
勉強、部活動、塾、習いごとで時間がない	12.9	13.5	20.8	20.2
他にやりたいことがある	23.4	20.9	12.4	25.4
読みたい本がなかった	24.6	12.1	20.1	13.9
読みたいと思っても、どの本を読んだらいいか、わからないから		3.4		2.7
文字を読むのが、苦手だから		6.4		6.0
テレビやビデオ、パソコンをしている方がいいから	8.5	10.4	7.7	13.0
本を読むのがめんどろ、読みたくない	18.2	6.1	16.4	10.5
借りて読みたいが、図書館が遠い	3.6	3.5	17.0	2.8
その他	5.4	9.7	2.8	4.1
無回答	3.4	13.9	2.8	1.5

Q 5. Q 3 で1冊以上読んでいる人に質問です。その本はどうやって手に入れましたか？（回答は3つまで）

	小学生		中学生	
	平 23	平 29	平 23	平 29
買った	38.2	38.8	51.7	57.2
友達から借りた	9.0	3.6	21.8	11.1
学校の図書室で借りた	22.2	27.0	14.0	11.2
図書館で借りた	25.6	21.2	10.1	10.1
その他 主な回答：家にあった・兄弟から借りた	4.6	7.7	1.7	6.2
無回答	0.4	1.7	0.7	4.2

Q 6. あなたは、1か月の間に、マンガ、雑誌、マンガ雑誌を何冊くらい読みますか？ ※電子書籍は平 29 のみ

		小学生		中学生	
		平 23	平 29	平 23	平 29
紙の本	0冊	12.1	19.7	17.7	21.8
	1～2冊	25.1	30.3	24.2	30.3
	3～5冊	21.1	19.6	21.1	20.8
	6～9冊	12.9	8.8	12.2	6.1
	10冊以上	25.5	20.1	22.3	18.5
	無回答	3.3	1.4	2.5	2.6
電子書籍	0冊		69.6		54.3
	1～2冊		9.5		11.1
	3～5冊		3.9		8.4
	6～9冊		1.6		3.9
	10冊以上		3.3		10.3
	無回答		12.0		11.9

Q7. あなたは、ふだん、どのくらい図書館や本屋に行きますか？

※平29のみ

	行かない	年に1回	半年に1回	月1回	2週間に1回	週に1回	週に2,3回	ほぼ毎日	無回答
学校図書室 小学生	8.3	7.7	9.4	17.0	10.8	13.7	18.5	12.8	1.9
中学生	29.9	7.1	13.4	17.1	8.4	7.5	9.0	5.3	2.4
移動図書館 小学生	47.3	8.7	6.3	13.0	12.5	2.9	1.8	1.2	6.2
中学生	91.6	1.6	0.7	0.5	0.3	0.1	0	0	5.2
図書館 小学生	32.9	15.8	14.9	15.4	7.2	3.9	3.7	1.6	4.7
中学生	40.3	14.7	22.1	12.1	3.0	1.9	1.1	0.4	4.5
書店 小学生	21.9	11.0	13.9	25.2	9.0	5.2	5.2	1.7	7.0
中学生	12.1	3.5	14.7	38.8	18.6	7.6	2.8	0.4	1.5

Q8. Q7の①で、学校の図書室に「いかない」「年に1回」「半年に1回」回答した人に質問です。行かない理由を教えてください。【回答は抜粋】

【小学生】

- ・休み時間に他に友達と遊んでいたりと、勉強したりしているから。
- ・本は借りないで買うから。
- ・家に本があるから。

【中学生】

- ・休み時間内に行く暇がない。
- ・休み時間は他のことをしたい。
- ・図書室に読みたい本がない。

Q 9. あなたは、次のような本を読みますか？ ※平 29 のみ

	小学生			中学生		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
マンガ、アニメ、ゲーム、映画などを小説にしたものや原作の本	68.2	28.5	3.3	83.2	16.1	0.7
表紙や本の中にマンガ・アニメなどのキャラクターが描かれている本	71.2	24.4	4.4	63.8	35.1	1.1
マンガで描かれた歴史、伝記の本	43.7	49.7	6.6	37.4	61.1	1.5

Q10. あなたは、家の人に絵本や本を読んでもらったことがありますか？

	小学生			中学生		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
平 23 読み聞かせの有無	73.3	25.2	1.5	56.9	42.2	0.9

平 29 読み聞かせの有無と頻度										
小学生										
就学前					就学後					
頻繁にあった	時々あった	滅多にない	無い	無回答	頻繁にあった	時々あった	滅多にない	無い	無回答	
43.7	30.5	12.9	12.0	0.8	6.6	14.3	16.7	58.3	4.2	
中学生										
就学前					就学後					
頻繁にあった	時々あった	滅多にない	無い	無回答	頻繁にあった	時々あった	滅多にない	無い	無回答	
45.0	29.0	12.9	11.1	1.9	6.2	12.2	27.5	50.2	3.8	

Q11. あなたが、本を読む「きっかけ」があったら、教えてください
 (複数回答) ※平 29 のみ

	小学生	中学生
家の人と一緒に本を読んだり、図書館に連れていって くれたりする	9.0	7.3
家のなかで、手に取りやすいところに本がある	11.3	11.8
友達が、本をすすめてくれたり、貸したりしてくれる	11.3	11.8
学校の先生が、おすすめの本を教えてくれる	2.6	1.8
読み聞かせをしてくれる人が、おすすめの本を教えてく れる	3.9	1.0
学校の「朝の読書」など、みんなで本を読む時間がある	14.5	19.6
クラス文庫など、学校のなかで、手に取りやすいところ に本がある	10.5	6.6
教科書で関連する本が紹介されている	8.6	3.6
インターネット、新聞の広告などで、読みたい本を見つ けた	6.0	9.2
好きな作家がいて、その人の作品を読んでいる	3.6	8.3
好きなジャンル、興味があるジャンルの本がある	5.5	16.5
その他	11.3	1.9
無回答	1.8	0.6

2 子どもの読書活動に関する参考サイト

【法令等】

子どもの読書活動の推進に関する法律

文字・活字文化振興法

図書館法

学校図書館法

学校図書館憲章

学校図書館図書標準

全国学校図書館協議会図書選定基準

学校図書館図書廃棄規準

幕別町図書館条例

幕別町学校管理規則 ※第7条の3（司書教諭）

【報告書】

これからの学校図書館の活用の在り方等について（子どもの読書サポーターズ会議 報告書）

人の、地域の、日本の未来を育てる読書環境の実現のために
子どもの読書活動の実態とその影響・効果に関する調査研究

【機関・団体のサイト】

社団法人 全国学校図書館協議会

北海道学校図書館協会

教育情報ナショナルセンター

国立教育政策研究所

国立国語研究所

国立情報学研究所

国立特別支援教育総合研究所

国立国会図書館 子どもと本をつなぐ人のページ

国立国際子ども図書館

社団法人 日本図書館協会

日本総合学習学会

日本教育学会

日本教育工学会

日本教育メディア学会

一般社団法人 学校図書館図書整備協会

社団法人 読書推進運動協議会

社団法人 日本国際児童図書評議会